

越前和紙を愛する会規約

(名称)

第1条 本会は、越前和紙を愛する会 と称する。

(事務局)

第2条 本会は、事務局を越前和紙の里紙の文化博物館に置く。

(目的)

第3条 本会は、越前市の伝統産業である和紙をとおして、無限の可能性と魅力をあわせもつ和紙文化を
発展させ、豊かなふるさとづくりに寄与しようとするものである。

(構成)

第4条 本会は、前条の目的をよく理解し和紙に関心をもつ個人会員および賛助会員（法人・団体）によ
って構成する。

(事業)

第5条 本会は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 和紙の里づくり、地域文化振興のための事業
- (2) 伝統文化究明のための調査研究および普及
- (3) 相互理解のための共同学習
- (4) その他

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 常任理事 若干名
- (4) 理事 若干名
- (5) 監事 2名

(顧問)

第7条 本会に顧問を置くことができる。

(組織)

第8条 本会に次の機関を置く。

- (1) 役員会（常任理事会、理事会）
- (2) 専門部会
 - ア 会誌「和紙の里」および会報編集委員会
 - イ 和紙資料収集・保存部会
 - ウ 和紙文化記録・研修部会

役員会、各専門部会は必要に応じて開催する。

(役員を選任)

第9条 会長、副会長、常任理事、理事および監事は役員会で決定する。

(役員のお務)

第10条 会長は、本会を代表し一切のお務を処理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、そのお務を代理する。
- 3 常任理事は、本会の重要事項を企画立案し実行の主体となる。
- 4 理事は、常任理事とともに企画実行の主体となる。
- 5 専門部会の構成並びに部会長は、会長が委嘱する。
- 6 監事は、本会の会計を監査する。

(役員の内)

第11条 役員の内は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(経費)

第12条 本会の経費は、会費その他をもってあてる。

2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、昭和49年10月8日から施行する。

附 則 (平成8年9月13日)

(名称の変更)

1 第1条中、「越前和紙を愛する今立の会」を「越前和紙を愛する会」に改める。

附 則 (平成14年4月22日)

(会計)

1 第12条に「2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。」を加える。

附 則 (平成17年10月18日)

(事務局の変更)

1 第2条中、「今立町教育委員会事務局」を「越前和紙の里紙の文化博物館」に改める。

附 則 (平成18年7月20日)

(目的)

1 第3条中、「今立町の伝統文化である和紙をとおして、文化活動をより発展させ」を「越前市の伝統産業である和紙をとおして、無限の可能性と魅力をあわせもつ和紙の文化を発展させ」に改める。

(組織)

1 第8条中、「総会 (代議員会)」を削除する。

2 同条に「(2) 専門部会 ア 会誌「和紙の里」および会報編集委員会 イ 和紙資料収集・保存部会 ウ 和紙文化記録部会 エ 学習・研究部会」を加える。

3 同条中、「総会 (代議員会) は年1回、役員会 (常任理事会、理事会) は必要に応じて開催する。」を「役員会 (常任理事会、理事会)、各専門部会は必要に応じて開催する。」に改める。

(役員の内)

1 第9条中、「総会 (代議員会) で決定する。」を「役員会で決定する。」に改める。

(役員の内務)

1 第10条中に「5 専門部会の構成並びに部会長は、会長が委嘱する。」を加える。

附 則 (平成20年8月20日)

(組織)

1 第8条中、(2) 専門部会 「ウ 和紙文化記録部会」を「ウ 和紙文化記録・研修部会」に改める。

2 同条中、(2) 専門部会 「エ 学習・研究部会」を削除する。

3-1
3-2

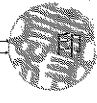
様式第4号 (第5関係)

活動結果報告書

令和3年5月12日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 三田村 輝士 

下記のとおり報告します。

日 程 令和3年4月20日(火曜日)～ 月 日(曜日)

活動先

活動目的 議会の活動内容を市民に報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

.....

三田村てるしだより第69号

.....

印刷業者 伊部印刷

.....

支払金額 61,600円

.....

配布先 市内各所

.....

配布枚数 3,900部

.....

たより内容 別紙のとおり

.....

.....

.....

.....

.....

三田村てるしだより

No.69 2021.4発行 〒915-0031 越前市余川町 31-11 電話27-1837



3月定例議会は2月19日から3月19日までの29日間にわたって開催され、令和3年度一般会計当初予算や「障がいの特性に応じた情報取得及びコミュニケーション条例」の制定など24議案に対する質疑や一般質問をはじめ、各常任委員会で審議が行われました。

議会最終日の「障がいの特性に応じた情報取得及びコミュニケーション条例」の採決時には手話通訳をお願いし、傍聴席から注目される中、全議員が手話のポーズで賛成を表明し、全会一致で可決しました。(別記)

その他、令和3年度一般会計当初予算や令和2年度一般会計3月補正予算、「北陸新幹線新駅周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」の制定及び介護保険条例の一部改正など、24議案の採決が行われ賛成多数で可決しました。

3月定例議会



手話のポーズで賛成を表明

新型コロナウイルス感染症対策関連

(令和3年度当初及び令和2年度3月補正)

- 飲食店応援!家族(18歳未満の子ども及び生活困窮者)に食事券を配付 1億5,520万円
- コロナに負けない事業所応援
(コロナの影響を払拭する前向きな取組みに10万円を補助) 6,500万円
- 観光誘客促進事業 3,850万円
- 団体バスツアーに対する助成
5人以上のツアーで、市内で食事(1,000円以上/人)し、観光地に立ち寄った場合、1人あたり500円、宿泊した場合は、1人あたり1,500円を助成。さらに市内のバスを利用した場合、運賃・料金の90%を補助
- 体験クーポン券の発行
体験費用に利用できる500円分の券を1枚300円で販売(上限60枚/1回)
- タクシー利用促進券の発行
指定観光地一区間を乗車できるチケットを1枚500円で販売
- レンタカー利用者に対する助成
レンタカーを利用して市内で食事又は体験をした場合、千円をキャッシュバック。宿泊した場合は、3,000円をキャッシュバック

令和3年度当初予算

令和3年度の当初予算は、新型コロナウイルス感染症対策や国の3次補正による15か月予算を活用した事業費約11億円の令和2年度3月補正の前倒し分を含めると360億2,800万円となり、昨年度比+2.6%の増の積極型予算となっています。

(百万円)

会計別	令和3年度当初予算額 (3月補正前倒し分含む)	令和2年度当初予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	36,028	35,121	907	2.6
特別会計	17,247	16,907	340	2.0
企業会計	8,629	9,054	△425	△4.7
計	61,904	61,082	822	1.3

新型コロナウイルス ワクチン接種費などに 4月補正予算(専決)

新型コロナウイルス感染症対策として、低所得世帯に対する生活支援のための給付金の支給や新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施のための経費に3億8,050万円の補正予算が専決処分(4月)されました。

- 児童扶養手当の受給世帯等に児童(18歳未満(障がい児は20歳未満))一人当たり5万円を給付 7,250万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種の体制確保 3億800万円
- ・個別接種費用(医師等への接種業務委託料等) 1億3,375万円
- ・集団接種費用(会場運営費、職員配置費、送迎委託料等) 1億5,541万円
- ・接種体制構築費(職員配置、システム改修費等) 1,884万円

3月定例議会で、障がいの特性に応じた情報取得及びコミュニケーション条例を全議員が手話のポーズで賛成を表明し、全会一致で可決しました。音声や文字をそのまま受け取りにくい障がいのある人にとって、必要な情報の取得や周囲とのコミュニケーションが困難で、適切な配慮がなされない状況が存在しています。

障がいの特性に応じた 情報取得及びコミュニケーション 条例の制定

令和3年4月1日から市に提出する申請書や支払手続きに必要な請求書、見積書など、全ての行政手続きについて、原則、押印の義務付けが廃止されました。

市の手続きの 押印見直し

このことにより新型コロナウイルスの感染拡大の防止や行政手続きのオンライン化、行政サービスの向上、行政手続きにおける市民の負担軽減、利便性の向上等が図られます。

平成17年に榎谷ダムが完成した後、県から水道用水を給水してきました。給水単価は当初113円/㎡であったが現在は97円/㎡で、令和3年4月から90円/㎡に値下がりになりました。越前市の給水量は25,000㎡/日です。

水道料金の値下げ

令和3年10月から水道料金が値下げになります。



監督とともに



道の駅の起工式

南越駅周辺まちづくり計画において、越前市版スマートシティ(人が集まる人が住みやすいまちづくり)&フォレストシティ(自然と人との共生)の実現を目指している中で、先行整備ゾーンに建設される最初の施設「道の駅」の起工式が4月9日に行われました。

令和3年度当初予算 主要事業

- 北陸新幹線南越駅周辺整備 11億6,099万円 (道の駅、周回道路、P&P駐車場、広場整備など)
- 第70回たけふ菊人形に向け屋内催事場を整備 2億5,488万円 (総事業費4億2,480万円)
- 武生中央公園水泳場(屋内型温水プール)総額 6億9,630万円
- 武生東運動公園陸上競技場改修(トラック、観覧席等) 2億5,073万円
- 住宅支援事業 1億4,104万円
 - ①新住宅取得推進事業(住宅取得費用の一部(最大140万円)を補助)
 - ・居住誘導区域内で延床面積が75㎡以上
 - ・40歳未満、又は子育て世帯(18歳未満の子と同居)、中心市街地での取得のいずれかに該当すること
 - ②結婚新生活支援事業(新婚世帯の新居の取得費等の一部(最大60万円)を補助)
 - ・婚姻日が令和3年1月1日以降
 - ・取得の場合は居住誘導区域外で、賃借の場合は市全域
 - ・夫婦ともに婚姻日における年齢が40歳未満であり夫婦の合計所得が400万円未満
 - ③多世帯同居・近居住まい推進事業(取得及びリフォーム)
 - ・直系親族と同一小学校区内又は直線1km以内に住宅を取得する場合に一部(30万円)を補助
 - ・中古物件の場合、耐震性が必要
 - ④木造住宅耐震改修促進事業(一戸建て木造住宅の耐震改修工事を行う場合、改修費用の一部(最大120万円)を補助)
 - ・耐震診断士が工事監理を行い、補強プランに基づく耐震改修工事であること
- 大型遊具の更新 2億9,000万円
 - ・アストロファスター更新(R2.3年) 5,000万円
 - ・バイク大規模修繕(R3年) 2,000万円
 - ・モノレール大規模修繕(R3.4年) 1,500万円
 - ・メリーゴーラウンド大規模修繕(R3.4年) 3,000万円
 - ・新規大型遊具整備(2基) 7,500万円
 - ・シンボル遊具整備(大観覧車を活かす) 1億円
- 自立支援事業 5,155万円 (要支援者の状態に応じた就労支援など最適な支援策を早期に提供)
- ふるさと納税推進事業 2億5,212万円 (5億円を目指して)
- 消雪施設整備事業 1億3,360万円 (市街地と東部地域をつなぐ幹線道路)
- 手話言語条例1周年記念事業 30万円
- 紫式部と国府資料館展示事業 1,246万円 (4月23日紫ゆかりの館オープン)
- 全国紙芝居まつり越前市大会の開催(8月28-29日) 55万円
- 東京2020オリンピック関連事業 674万円 (選手を応援)
- 農作物鳥獣害防止対策推進事業 1億1,173万円 (二ホンシカ用柵等)
- 森林環境譲与税基金事業 4,348万円 (小規模間伐、高性能機械借上支援等)
- 防犯カメラ設置 500万円 (1台10万円限度、1地区10台まで)
- 危険ブロック塀除却事業 280万円 (通学路に面した危険ブロック塀等を撤去する場合に、撤去費用や再設置費用の一部を補助)
- マイナンバーカード交付事務 7,270万円 (円滑な交付を促進するために本庁3階に臨時窓口を設置)
- 子ども子育て支援事業
 - ・在宅育児応援手当 1,440万円 (世帯第2子目以降の満1歳の子を家庭で保育する世帯に1万円/月を支給(所得要件を撤廃))
 - ・すみずみ子育てサポート 350万円 (一時預かり事業や家事サポート事業を利用した際に、1時間当たり350円(3子目以降700円)を助成(月70時間まで))
 - ・派遣保育士確保 1,174万円 (0~2歳児の待機児童の解消のために人材派遣等により保育士等を雇用する場合派遣料金40万円/月、紹介料金100万円/人を補助)
 - ・民間保育所支援 1,570万円 (市内の保育所に勤務していない期間が1年以上ある保育士を新たに雇用する園を応援(1人50万円を補助))

令和2年度 3月補正

- 学校施設等感染症対策事業 2,480万円
- 地方バス路線活性化推進補助金の増額 5,197万円
- 道路除雪作業に係る委託料の増額 2億5,371万円
- 北陸新幹線南越駅周辺整備 1億1,895万円
- ふるさと納税増に伴う経費の増額 5,460万円
- 橋梁維持改修事業 1億1,300万円
- 財政調整基金積立金 6億4,656万円
- 社会基盤整備基金積立金 4億2,391万円

庁舎前ひろばの完成

庁舎前ひろばが完成し、4月18日にランドオープン記念式典が市役所eホールで行われました。開催を予定していたOSK公演や市民団体のブリス出展等は感染拡大防止の観点から中止となりました。

庁舎前ひろば(約4,770㎡)には、「芝生ひろば」や「噴水ひろば」を整備するとともに、利用者の休憩やバス利用者の待合に利用できるように四阿やベンチが設置され、平日だけでなく休日も多く市民が集い、交流や憩いの空間となっています。

庁舎南側に設置された自然の光を取り入れることのできる大屋根を中心に、屋内のeホールやカフェスペース、情報図書コーナー等と一体的に利用できる開放的な空間となっていて雨天時でもイベントができるようになっていきます。年間15回程度のイベントが計画されています。

東側には庁舎敷地内から出土した石垣等を活用し、歴史を偲ぶ空間が整備されています。

また、庁舎前ひろばは、災害時に一時的な避難所となる機能(マンホールトイレ、イベントフック、屋外コンセント、給排水など)も整備され、市民福祉の向上のみならず、防災の拠点としての機能も有しています。

ひろばの完成により、ひろば兼駐車場(60台)が確保され、来庁者駐車場は南側を含めて125台確保されました。

ひろばの総工費は大屋根を含めて5億2,687万円です。



新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルス感染者が国内で確認されてから1年余。国内の感染者数は60万人を超え、大阪では連日千人超の過去最多を更新するなど、各地で緊急事態宣言解除後最多を更新している。県内でも連日感染者が確認され1千人に迫ってきた。県は4月16日から5月9日までの間、県感染拡大特別警報を発令した。今後さらに増加する傾向にある。

また、全国各地で変異株が増えており、従来株から急速に置き換わりが進行し、医療提供体制も厳しい状況が続いている。第4波の拡大期を迎える中で、まん延防止等重点措置の対象は10都府県に拡大した。

こうした中、2月中旬から医療従事者等を対象にアメリカの製薬大手ファイザーが開発したワクチンの先行接種が始まり、4月12日から重症化するリスクの高い高齢者施設入所者と施設従事者の接種が開始された。

医療従事者等のワクチン接種は5月末に終了し、高齢者施設入所者と施設従事者は6月末に終了の予定。

ワクチン接種事業は各自治体が主体となって行うため、市では一般高齢者の接種券を4月23日に発送し、個別接種は5月17日から市内33カ所の病院・診療所で開始し、集団接種は5月27日から市内3会場(別記)で始まる。

国は6月中に高齢者の接種に必要なワクチンを確保し、各自治体に届ける方針。市は一般高齢者の接種を8月末に終了の予定で、一般の方のワクチンが順調に確保された場合、7月上旬に一般の市民に接種券を発送し、7月下旬から接種を始め、11月末の終了を目指している。

新型コロナウイルスワクチンの接種体制整備のために4月専決補正予算3億800万円(別記)を確保した。

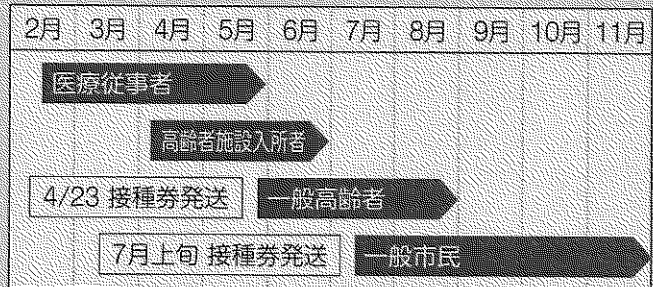
接種後にアナフィラキシー(副作用の初期症状)と呼ばれる重いアレルギー症状などに不安を感じている方が接種を敬遠することを考慮し、接種率の目標を70%としている。

接種に関して様々な意見があるが、アナフィラキシーの頻度が約1万3千回に1件と低いことから、できるだけ早く接種することをお勧めします。

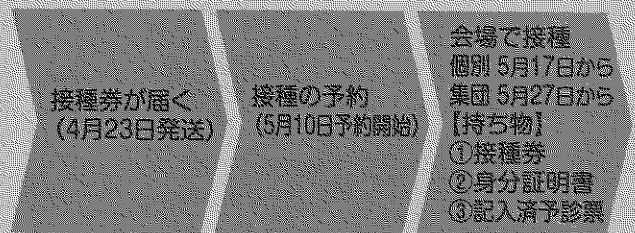
ワクチン接種の優先順位

- ①医療従事者等
- ②高齢者施設入所者及び施設従事者
- ③一般高齢者
- ④基礎疾患を有する一般の方(高齢者以外)
- ⑤高齢者入所施設以外の施設従事者
- ⑥60歳から64歳の方
- ⑦上記以外の16歳以上の方

ワクチン接種スケジュール



高齢者接種のながれ



ワクチン接種場所

個別接種	市内33カ所の病院・診療所	
5月17日から開始		
集団接種	市民プラザ	毎週木・日 (PM1:30~4:30)
5月27日から開始	あいば一く今立	毎週木・日 (PM1:30~4:30)
	AW-スポーツアリーナ(6月3日から)	毎週木・土 (PM1:30~4:30) 日 (AM9:00~12:00)

*集団接種の会場へ、自分で行くことが困難な方を対象に、送迎バスが出ます。送迎バスの予約は電話でしてください。地区ごとに数カ所の乗車口が設けられます。

ワクチン接種予約及び各種問い合わせ先

市ワクチン接種予約受付案内センター

(受付時間 平日・土/午前9時~午後5時)

☎0778-42-5501・FAX 0778-42-5516

3-3
3-4

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和3年8月4日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 三田村 輝士



下記のとおり報告します。

日 程 令和3年8月4日(水曜日)～ 月 日(曜日)

活動先

活動目的 議会の活動内容を市民に報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

三田村てるしだより第70号

印刷業者 伊部印刷

支払金額 61,600円

配布先 市内各所

配布枚数 3,900部

たより内容 別紙のとおり

三田村てるしだより

No.70 2021.7発行 〒915-0031 越前市余川町 31-11 電話27-1837

6月定例会

6月定例会は6月11日から7月2日までの22日間にわたって開催され、一般会計6月補正予算や「市文化センター設置及び管理条例の一部改正」など8議案に対する質疑や一般質問をはじめ各常任委員会で審議が行われました。

初日（11日）に行われた提案理由で、奈良市長から10月に予定されている市長選挙に「私のこれまでの経験がさらなる市政発展のお役に立つのであれば、今後の市政運営に向け

た決意を固めてまいりたい」と5期目を目指して立候補する旨の発言がありました。

議会最終日には、議会活性化特別委員会が議論してきた市議会基本条例、市議会委員会条例及び市議会会議規則等の一部改正について提案し、全会一致で可決しました。（詳細は後記）

その他、監査委員の選任に同意を求める議案などの採決が行われ賛成多数で可決しました。

正・副議長の改選 議長を交代しました。

6月定例会最終日（7月2日）に、私が議長の辞職願を、大久保健一議員が副議長の辞職願を提出したことに伴い、正・副議長選挙を行いました。

議長選挙には川崎俊之議員と安立里美議員が立候補し、所信表明の後に投票を行い16票を獲得した川崎議員が議長に当選しました。

副議長には吉田啓三議員が立候補

し、18票を獲得して副議長に当選しました。



議長 三田村 てるし

6月 補正予算

一般会計の6月補正予算(4月専決含)は、新型コロナウイルス感染症対策費などに4億6,791万円が補正され、補正後の総額は約353億2千万円となりました。

【補正概要】

(単位：百万円)

会計別	補正前	補正額	補正後の額
一般会計	34,852	468	35,320
特別会計	17,247	-	17,247
企業会計	8,507	-	8,507
計	60,606	468	61,074

【主な補正予算の内訳】

- 低所得子育て世帯生活支援特別給付金(児童一人に5万円) 7,250万円
- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金(約70世帯に最大10万円/3か月) 2,100万円
- ワクチン接種体制確保事業費 3億5,260万円
- 保育園などの環境改善に係る新型コロナウイルス感染症対策 488万円
- 自主防災組織育成の設備の整備に対する助成(味真野地区 除雪機) 130万円
- コミュニティ活動用の備品などに対する助成(南中山、吉野、坂口) 710万円 など

市議会活性化の取組み

市議会の活性化に向けた取組みについて、令和2年3月定例会で設置した議会活性化特別委員会において議論を重ねています。

6月定例会では、市総合計画の議決を市議会基本条例に位置付けることやオンライン委員会の開催を可能にする等の活性化に向けて「市議会基本条例」、「市議会委員会条例」及び「市議会会議規則」の一部を改正しました。

①市総合計画を条例に位置付け

市議会基本条例の制定から10年の節目を迎えたことから、議会改革の一環として、条例の内容を検証しました。

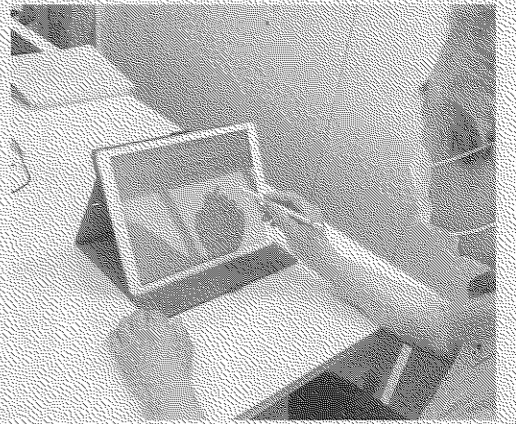
改正した内容は、市の羅針盤ともいえる総合計画の基本構想に相当する部分を策定、変更又は廃止する場合には、議会の議決を必要とすることにしました。

また、ハラスメントが社会問題となっていることから、議員の政治倫理の条項に「人権を侵害する恐れがある言動は厳に慎まなければならない。」を加え、議員の倫理観の一層の向上を目指します。

②オンライン委員会を可能に

新型コロナウイルス感染症の拡大により、議会活動や議員活動が大きく制限されてきた現状を踏まえ、感染症の拡大時に加え、豪雨、地震等の災害時や、介護、育児等のやむを得ない時なども含めて、議員が会議の場に参集できない場合においても、オンラインによる常任(特別)委

員会が開催できるように、市議会委員会条例及び市議会会議規則を改正しました。オンライン委員会の開催時には、全議員に貸与しているタブレット端末を活用します。



タブレット

北陸新幹線 新駅名「越前たけふ駅」に決定

北陸新幹線南越前駅(仮称)の正式名称が「越前たけふ駅」に決まりました。

昨年、北陸新幹線新駅駅名候補選定委員会が市長に答申した候補には、越前武生(たけふ)、新武生、越前市、南越武生(たけふ)、越前、越前国府などがあり、その中から西日本旅客鉄道株式会社が正式駅名を5月13日に発表しました。

「福井鉄道福武線の駅名を変更」

北陸新幹線新駅の名称が福井鉄道福武線の駅名「越前武生」(府中3丁目)と重複したことから、福井鉄道側では駅名変更

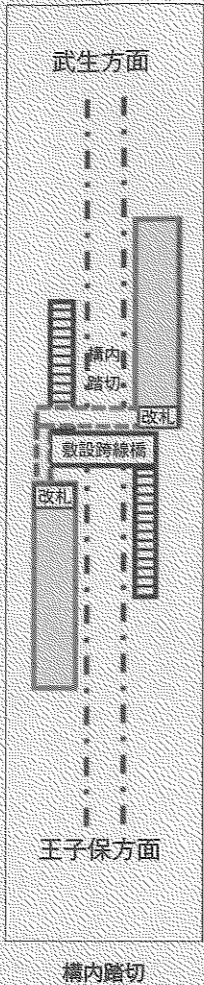
並行在来線に新駅を整備

北陸新幹線(金沢-敦賀間)の開業に伴い、北陸本線はJR西日本から経営分離され、並行在来線として県、市町、民間からの出資による第三セクター会社が経営主体となります。

利用者の利便性の維持及び向上のために、並行在来線に新駅を設置する計画で、市では武生、王子保駅間(4.3km)のほぼ中央に位置し、新たに駅勢圏に含まれる人口が比較的多い(3,657人)、武生商工高校に最も近い畷町(約390m)を候補

地(武生駅から1.7km)に選定しています。新駅の将来乗車人員の予測を開業年の2025年に286人/日とし、20年後の2045年には200人に減少すると見込んでいます。新駅の施設規模は、既存する踏切橋の形状を考慮し、新駅東、西の改札口を構内踏切で行き来する形態となっています。

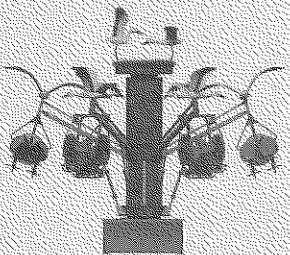
駅舎及び駅前広場の整備費を5億円と見込み、令和7年春の開業を目指しています。



武生中央公園コウノトリ広場整備

市は武生中央公園の大型遊具が老朽化してきたことから、加古総合研究所の監修を受け、武生中央公園コウノトリ広場を子どもたちの創造力や探求心を育む「ワタワタ・ドキドキ」の体験ができる空間として公園全体の回遊性を高め、さらなる魅力向上を図る計画です。

今年度は第70回たけふ菊人形の開催に向けて、モグラのトンネル迷路や森のアスレチック遊具のほか、アストロファイターの更新機としてコウノトリと大空散歩の遊具が整備されます。来年度には、機能廃止した観覧車跡地に新たなシンボル遊具やハイキングのりリニューアル等が予定されています。



コウノトリと大空散歩の遊具イメージ

【概算事業費と整備スケジュール】

整備内容	概算整備費	供用開始
モグラのトンネル迷路、森のアスレチック遊具	10,000千円	R3.9末
コウノトリと大空散歩(アストロファイター更新機)	50,000千円	
シンボル遊具	100,000千円	R4.7中
ハイキングリニューアル 四阿、日よけ遊具、ベンチ等	20,000千円 50,000千円	

更について、8月に選定会議を設置し駅名の変更について協議することになりました。

私は市議会議長として北陸新幹線新駅の駅名候補選定委員として候補の選定に関わりましたが、この度の福井鉄道福武線の駅名変更に係る選定会議にも丹南市民自治研センターを代表して参加することになりました。

福井鉄道福武線の始発駅名には、越前国府や府中といった歴史的な名称が相応しいと思っています。



福井鉄道 福武線 越前武生駅

北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺整備

市は北陸新幹線越前たけふ駅周辺のまちづくりについて、伝統や自然などの地域特性を活かした未来都市を目指す「越前市版スマートシティ&フォレストシティ」をコンセプトに、市と地元地域が

河川の堆積物等の調査

7月に入り線状降水帯の発生によって、全国各地で大きな豪雨災害が発生しています。こうした中、市から配布された洪水ハザードマップを住民に周知しようと公民館と振興会が共催して味真野公民館で「ハザードマップを広げよう」が開催されました。その席上「河川の堆積物が災害につながる」と心配する意見がありました。

そこで選定会議員と共に、区長、市及び県担当者の同席のもと、菟谷川と文室川、菟谷川の堆積物の調査を行いました。地域住民の災害に対する不安を解消するために、現場で市及び県の役割分担を確認しながら堆積物や雑木の計画的な撤去等を要望しました。



菟谷川の雑木調査

水道料金の改定

市では、県からの水道用水供給単価が97円/m³から90円/m³(R3.4)に7円引き下げられたことから、水道料金協

連携し、開発やスマートシティ形成等のノウハウや実績が豊かなパートナー企業(民間開発事業者)に業務を委託し、約100haの駅周辺エリアで、官民連携(PPP)プロジェクトでの一体開発のまちづくりを進めています。

また、令和3年3月に「オープンイノベーション推進ビジョン」を策定し、「モのづくり×先端テクノロジ×環境・エネルギー領域」において新たな産業と新たな事業が生み出されるまちづくりを進めるとともに、本市で住み、働く意義の創出を目指しています。

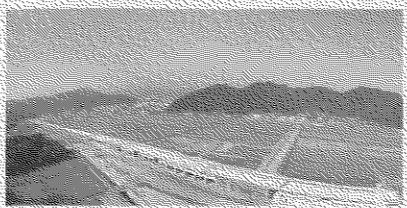
令和3年当初予算に1,500万円の官民連携プロジェクト推進支援業務委託料が確保されています。

なお、基本協定の締結後は、市とパートナー企業は、地元との協議を行い、意見等を確認しながら、事業実施計画書を作成する予定です。

企業誘致までのスケジュールは次のとおりです。

- ・7月30日 審査委員会
- ・8月上旬 パートナー企業の選定結果の公表
- ・8月中旬 基本協定の締結

※オープンイノベーションとは、複数の企業や自治体、大学、金融機関などが、アイデア、技術、サービス、データ、ノウハウなどを組み合わせ、革新的なビジネスモデルや製品、サービスなどを想像する手法のこと。



議会において水道料金の低減に向け総合的な検討を行い、本年10月からの水道料金の引き下げを目指しています。

令和2年度のASETマネジメントの財政シミュレーションでは、今後10年間は現状の料金を維持することが可能との結果を得たことから、水道料金の算定期間を令和3年度から令和12年度の10年間とすることとしています。

市は平成17年に榑谷ダムが完成した後、県から水道用水を給水してきました。現在の給水量は25,000m³/日です。

2050年ゼロカーボンシティ表明

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象が多発し、地球規模で各地に大きな被害をもたらしています。

市では、かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐために2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組みを進めていくことを本年8月に宣言する予定です。

国は今年5月に地球温暖化対策推進法を改正するとともに、第6次エネルギー基本計画の見直しを進めています。

地球環境を守るため、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速する中、既に全国では約3割の市が宣言を表明しており、越前市においても新幹線新駅周辺でのスマートシティ形成を謳った基本協定の締結に合わせて表明し、市民や事業者に対する気候危機意識の早期高揚を目指しています。併せて、具体的な施策等について、改定を進めている市環境基本計画に位置付ける予定となっています。

自治創想 (議長を経験して)

令和元年9月に議長に就任し、去る7月2日まで皆様を支えられながら議長を務めることができました。心より厚くお礼申し上げます。

この間に、新庁舎が完成し新議長室に引っ越しました。また、コロナ禍における市議会の在り方等を模索し、様々な対策を講じてきました。

残念な出来事としては、工期延長により北陸新幹線の敦賀開業が1年遅れたことや、感染症の拡大によって2020東京オリンピック、パラリンピックが1年延期となったことです。このような歴史的な局面に議長を務められたことは、とても光栄であり貴重な経験となりました。

議長に立候補するにあたり、所信表明の中で市議会の活性化に向けた次の提案を行いました。

- ・議会基本条例を時代にあつた内容に見直す。
- ・特別委員会を設置し議会を活性化させる。
- ・新・旧の議場を市民に活用いただき、議会を身近に感じてもらえる機会をつくり政治への関心を高める。
- ・議員報酬のあり方や議員定数についても十分に検証する。 など

①特別委員会の設置

特別委員会の設置について、反対意見がある中、議員の説得に努め令和2年3月に議会活性化特別委員会を、同年7月に公共交通対策特別委員会を設置することができました。

議会活性化特別委員会は、市民に信頼され、わかりやすい議会を目指すために、議会基本条例や議員倫理条例の見直しに向けて精力的に議論を重ね、去る6月定例会では市総合計画の基本構想を議決案件とすることやオンライン委員会の開催を可能にする等の条例等を改正しました。今後、議員報酬のあり方や議員定数、議員政治倫理条例の見直し等について議論を深めることになっていきます。

公共交通対策特別委員会は、北陸新幹線工事現場の視察を行うとともに市内バスやタクシー業界の現状について意見交換を行いました。

また、並行在来線会社「あいの風とやま鉄道」の支援の取組みについて富山県高岡市に、九州新幹線新駅周辺まちづくりについて熊本県玉名市に協力いただきオンラインによる行政視察を実施しました。

今後は、越前たけふ駅と武生駅を結ぶ2次交通の確保や福武線の存続、高齢者の移動手段の確保など地域公共交通の諸課題に向けた議論を行い、来年度の改選期までに意見集約を図り、地域公共交通に関する市への提言書をまとめていくことになっていきます。

②新・旧議場でイベント実施

旧議場は重厚感あふれ、どっしりと落ち着いた議場でした。新議場は傍聴席から議員や理事者の表情など全体が見渡せ、とても明るく臨場感あふれる議場です。

市民の政治離れが加速する中、新旧の議場を議会傍聴や見学を通して、議会(政治)を身近に感じていただける機会を作

りたいと考え、42年間のラスト議会となった平成元年12月議会では、フルートとキーボードの演奏による「さよなら議場演奏会」を開催し、旧議場に別れを惜しまました。

令和2年3月議会では、新議場のグラウンドオープンを記念して「越前万歳」を披露していただき、新議場の始まりにふさわしい公演となり、傍聴席は満席になりました。

今後も、市議会を身近に感じてもらえるような企画を考えていきたいと思えます。

③コロナ禍における議会の対応

感染症の拡大が市民生活や事業者に深刻な影響を与える中、市議会においても適切な運営が求められ、次の対策を講じました。

- ・議員の意見要望を一元化
各議員が個別に行政の各部署に現状を訴えて対策を求めるようなことになれば行政が混乱し停滞を招きかねないと考え、市民からの意見や要望について議員を通して議会に一元化し、三回に分けて市長に申し入れを行い文書による回答を求めました。
- ・議員の期末手当などを削減
市民生活や事業所を支援するための財源確保に協力するために、6月支給の期末手当3割削減と政務活動費の3か月分を削減しました。
- ・6月議会の議会運営を短縮
議場における本会議への出席議員を議決の時以外は定足数の日名を満了人数

に抑え交代して出席することとし、理事者の出席も必要最小限に抑え、1時間に1回程程度の換気を行う等、感染症対策を講じながら本会議を開催しました。

・感染症対策に関する意見書の採択

感染症が市民生活のあらゆる面で、かつてない深刻な影響を受けていることから、令和2年6月議会でも感染症対策に関する意見書を全会一致で採択し、国に提出しました。

・市民や事業所を積極的に支援

令和2年度の補正予算は、新型コロナウイルスの感染症対策費として16回補正されました。その総額は市民一人当たり10万円の支給(総額約83億円)を含め103億9,366万円に上ります。

その財源の多くは国からの地方創成臨時交付金や国庫補助金が当てられ、市の一般財源(基金からの取崩しを含め)は1億4,949万円です。

コロナ禍で多くの市民や事業所に深刻な打撃を与えている状況を考慮し、積極的な支援を提案してきました。

④今後も信頼される議会を目指します

市の重要な課題解決に向けた議員間討議の充実や災害発生時にタブレットを活用し、被災状況を災害情報として議会に集約し、2次災害の防止や災害復旧対策に役立てる仕組みの検討等の取り組みは十分に議論できませんでしたが、今後も、教育厚生委員長及び議会運営委員として、市民に信頼され、開かれた市議会をめざし、市民が安全で安心して暮らし続けられる越前市を目指して活動します。

3-5
3-6

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和3年10月21日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 三田村 輝士



下記のとおり報告します。

日 程 令和3年10月21日（木曜日）～ 月 日（ 曜日）

活動先

活動目的 議会の活動内容を市民に報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

三田村てるしだより第71号

印刷業者 伊部印刷

支払金額 62,700円

配布先 市内各所

配布枚数 4,000部

たより内容 別紙のとおり

三田村でるしだより

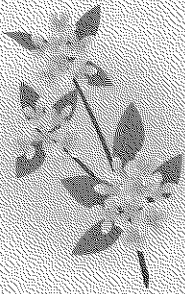
No.71 2021.10発行 〒915-0031 越前市余川町 31-11 電話27-1837

9月定例議会

9月定例議会は8月30日から9月21日までの23日間にわたって開催され、令和3年度一般会計補正予算をはじめ「道の駅設置及び管理条例の制定」などの16件の議案が提案され、議案に対する質疑や一般質問をはじめ各常任委員会で審議が行われました。私は2年ぶりに一般質問を行いました。

また、道の駅設置及び管理条例は、道の駅「越前たけふ」利用者への良好な休息の場の提供、地域観光の促進、市民と来訪者との交流促進並びに地場産品の販売による地域産業の振興を図る施設として設置するために制定されました。

提案された決算認定案7件は、決算特別委員会を設置し、閉会中に審査することになり、その他の議案は議会最終日に可決しました。



9月 補正予算

一般会計の9月補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策費(1億8,675万円)や財政基盤を強化するための財政調整基金積立金など8億2,107万円が補正され、補正後の総額は361億4,098万円になりました。

主な補正予算の内訳

- ・東京2020オリンピック祝勝パレード等経費 200万円
- ・子育て一時支援事業の増額 269万円
- ・吉野地区公立認定こども園建設に向けた土地測量業務経費 724万円
- ・大雨の影響による農地及び農業用施設の災害復旧(入谷町他)事業費 1,748万円
- ・西校区認定こども園建設に伴う武生西幼稚園等の施設解体等経費 6,945万円
- ・新住宅取得推進と従業員用共同住宅建設支援の事業補助金の増額 5,200万円
- ・ツキノワグマ誘引樹木伐採事業補助金の追加 30万円
- ・財政調整基金への積立金増額 5億円

新型コロナウイルス感染症対策関係補正予算の内訳

- ・えちぜんし割クーポン発行事業 2,600万円
- ・バス助成や体験施設利用クーポン券発行経費 2,850万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 4,975万円
- ・障がい児通所施設抗菌処理費等 400万円
- ・障がい福祉サービス提供継続のための衛生用品購入費及び訪問介護者の特殊勤務手当等の支援 200万円
- ・介護サービス提供継続のための衛生用品購入費及び訪問介護者の特殊勤務手当等の支援 340万円
- ・福祉施設用備蓄用衛生用品購入費(消毒液、カウン、マスク他) 200万円
- ・児童福祉施設の感染対策強化のための衛生用品購入費等 17,900万円
- ・私立保育園休園に伴う副食費の減免相当額の支援 200万円
- ・公立保育園の衛生用品購入費(空気清浄機、サーモカメラほか) 1,200万円
- ・コロナに負けない事業所応援事業補助金等 2,380万円
- ・幼稚園、小中学校感染対策衛生備品費及び補助金 1,460万円

補正概要

会計別	補正前	補正額	補正後の額	(単位 百万円)
一般会計	35,320	821	36,141	
特別会計	17,247	—	17,247	
企業会計	8,507	—	8,507	
計	61,074	821	61,895	

一般質問

9月定例会議の一般質問では、新型コロナウイルス対策と狹隘道路の除雪、河川の浚渫及び除雪体制の4項目について理事者の考え方を質しました。

新型コロナウイルス対策については、感染症拡大の影響で経営の厳しい事業者や市民生活を応援する思い切った追加支援を提案しました。

狹隘道路の除雪については、今年1月の大雪時に課題が浮き彫りとなったことから市の考え方を質しました。

除雪体制については、除雪機械の免許取得に要する費用の補助制度を提案しました。

① 新型コロナウイルス対策

交通、観光業、飲食業関係事業者は感染症拡大の影響で厳しい経営状況に置かれ、限界にきていると聞く。災害級の感染状況の中、思い切った追加支援が必要。

バスツアーの助成及び体験クーポン券の発行により観光関連事業者を切目なく支援する。また市内で利用できる電子クーポン「えちぜんし制」発行事業により小規模事業者等を支援する。今後も現場の意見を第一に考え、効果的な支援策を検討する。

生活困窮者や一人暮らし世帯、子ども達、障がい者のある方達に思い切った生活支援を行うこと。

さらなる感染防止対策など支援策の必要性について、部内で検討している。

市職員の感染が相次いでいる。職場の換気や職員の検温、健康管理など、職場の感染症対策は、

国や県が示す通知や方針等に基づき感染防止策を徹底するほか、分散配置の継続やパーティションを設置している。改めて全職員に対し、感染防止策の取組みの再徹底を指示した。

感染力が強い変異株に対し、対応マニュアルの見直しなど、対策の強化が必要。

市職員の感染防止対策は産業医などの意見を聞きながら適時、見直しを行う。

市職員のワクチン接種の状況を把握しているか。

市職員全体の接種の状況は把握していないが、保育園等は8月末現在で8割の職員が2回の接種を終えた。希望する職員が安心して接種を受けられるよう、勤務時間における接種は職務専念義務免除の取扱いとし、副反応により発熱等があった場合も特別休暇の取得を認めている。

イベントや事業の開催、中止、延期に対する考え方に一貫性をもち、地域や各団体、住民が混乱しないように対応すること。

コロナ禍におけるイベントは国や県の団体等からガイドラインが示されている。市では感染状況を踏まえて、施設の利用制限あるいは1カ月、2カ月程度先のイベントの予定、実施方法を一覧表にまとめて確認している。

決算特別委員会を 設置

令和2年度の歳入歳出予算の執行実績である決算の審査について、決算特別委員会を設置しました。特別委員会は議長及び監査委員を除く20名で構成します。

決算審査の進め方は、各常任委員会が分科会となり、予算審査と同じ所管の歳入歳出予算の執行実績結果について、条例や関係法規の適合関係や計数的な正誤にとどまらず、行政効果や執行残額の原因など幅広い視点で検討を行いました。

私は、教育厚生分科会会長として審査にあたりました。分科会のまとめを全体会で、12月定例会議の初日に決算審査の結果を報告します。

〔決算審査の日程〕

- 9月27・28日 教育厚生分科会
(市民福祉部、教育委員会所管分)
- 10月4・5日 産業建設分科会
(建設部、産業環境部所管分)
- 10月6・7日 総務分科会
(企画部、総務部、今立総合支所所管分)
- 11月8日 全体会



要望書提出

教育厚生委員会として、 祝勝パレードの 延期を要望

教育厚生委員会に提案された9月補正予算の審議にあたって、予算に計上された東京2020オリンピック関連事業200万円について、金メダルを獲得した見込選手をはじめ、佐藤選手、村上選手活躍を称え9月26日に表彰式とともに祝勝パレードが計画されていることに関し、パレードに多くの子どもを含む市民が集まることと予想されることから9月13日に教育長に対して「延期」を求め、要望書を提出しました。

12月定例会議の 日程が決まりました

12月定例会議は11月26日から12月17日までの22日間の予定で開催し、各会派の代表質問を行います。市長選挙後の定例会議であり、9月議会で議論が集中し市長選挙の争点となった北陸新幹線「越前たけふ」駅前周辺まちづくりや新型コロナウイルス感染症対策などに対する議論が想定されます。皆さんの議会傍聴をお待ちしています。

12月議会日程	
11月26日	決算審査結果の報告 提案理由説明
12月1日	代表質問
12月3日	質疑
12月6・7・8日	一般質問
12月9・10・13日	常任委員会
12月17日	常任委員会報告 審査結果の報告 討論、採決、閉会

方法を相談したいということであれば、担当所属に相談いただきたい。

優先接種する若い世代と妊婦やその配偶者の対象者数と優先接種912人の根拠、具体的な予約の仕方、また912人以上の申し込みがあった場合の対応は、

接種済若しくは予約済み以外で、妊婦の方も含めた9月予約枠912人を集団接種会場に用意した。予約枠がすべて埋まった場合は、さらに456人分の追加設定を行う。

今後も、医療機関や県営の予約状況も合わせ、予約情報を市HP等に掲載し、予約しやすい環境を整えていく。

市民への情報発信は、ワクチン接種はあくまでも個人の希望に基づくものであること、大切な子どもたちの命と健康を守ることは大人の責任であること、などと共に「大切な家族や子ども達を守るためにも接種しましょう。」と情報発信をすること。

不安をおおらないよう、表現について再度検討する。

10月に接種が完了しても、デルタ株を抑えることはできない。接種が完了後、3回目接種の準備が必要。

国から3回目の接種に向けた通知が届き次第、速やかに武生医師会等と協議をはじめたい。

② 狹隘道路の除雪

今年3月の調査の結果、機械除雪が可能な幅員の道路について、市道除雪に組み込まないか検討しているとのことだが、どう考えているのか。

4.5m以下の市道について、令和元年に夜間に除雪作業ができる狹隘道路の一斉調査を行い、その結果として複数回の除雪に対応でき、一般除雪に組

南越清掃組合協議会

9月29日に開会した組合議会において一般質問を行いました。

① ゴみ排出量の推移について

ごみ排出量の増加の原因と、その対策は、

家庭系ごみの増加は、感染拡大によるテイクアウト等の巣籠り需要の増加や家庭内の断捨離による布団等のごみの増加、外出の自粛に伴う草や剪定くずの増加が考えられる。ごみの減量化は、リサイクルや適切なごみの分別と合わせ周知する。

新ごみ処理施設の稼働により、汚れが付着し洗浄が困難なプラスチック製容器包装やペットボトルは、燃やせるごみとして出せるようになる等、ごみの出し方が一部変更になった。少しの汚れは洗浄して出す等、ごみと資源を正しく分別するように住民への周知が必要。

改めて、プラスチック製容器包装やペットボトルは、水でさっとすすいで汚れを落とし、資源物として出してください。ただようチラシを作成し、管内に全戸配布した。引き続き、適切なごみの分別と3Rについて、周知に努める。

教育委員会と連携し、ごみの問題や環境問題を楽しく見学、体験、学習する機会を増やすこと。

小学生のみならず様々な住民の方々に訪れていただけるようイベントの開催等に取り組む。

② ごみ処理単価について

ごみ処理施設が新しくなったことで

み入れられるか、除雪業者と協議を行い、検討を行いたい。

③ 河川の浚渫

7月に味真野地区で、洪水ハザードマップを住民に周知する「ハザードマップを広げよう」が開催され、席上「河川の堆積物が災害につながるのではないか」と心配する住民の意見があり、区長、市及び県担当者の立会いのもと、鞍谷川と文室川、菅谷川の堆積物の調査を行った。その結果、川底に土砂等が堆積、葦が群生、雑木が繁茂しているが、川底の堆積物や雑木の繁茂の状態をどのように把握しているのか。

巡回パトロールや地元からの連絡により、堆積物、雑木の繁茂などの状況を把握している。



文室川調査

④ 除雪体制

市道除雪機械の運転免許取得にかかる費用を補助すべき。

オペレーターの高齢化や人員不足は、今後の除雪体制を維持する上で重要な課題であり、県内各自治体の動向も踏まえ、補助制度の検討を進める。

一般質問

ごみの処理単価は、どう変化したのか、その要因は、

最新の設備を導入し、環境負荷の削減や、焼却熱利用による発電などを行う施設であることから、維持管理費がかかるため、ごみ処理単価は上昇する見込み。

基本計画の組合の役割に「必要に応じて家庭ごみ有料化の検討を行う」とあるが、どのように検討するのか。

現時点では検討を行っていない。今後のごみ排出量、社会情勢、近隣の動向等を注視し、必要に応じて検討を行う。

③ 新ごみ処理施設建設に係る 建設代金について

新ごみ処理施設建設工事に係る工事代金について、1次下請けの西部エンジニアリング株式会社から2次下請けさ



新ごみ処理施設 全景

れた会社に、下請け代金が支払われていないことで、2次下請け会社から「陳情書」が各構成市町及び議会に提出された。陳情理由が事実であれば、大きな社会問題に発展しかねない。この問題を放置せずに徹底的に説明すべき。また、改めて元請け会社のタクマに指導するよう強く要望する。

▽下請け業者間における工事代金の未払いについて、受注した共同企業体の代表である、株式会社タクマに実状を確認し、適切に対応するよう要請した。今後は、このような問題が起こらないよう株式会社タクマに指導するとともに、速やかに解決されるよう注視していく。

政務活動費の報告

議員活動として令和2年度中に支出した政務活動費を報告します。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が市民生活に大きな打撃を与えている状況を考慮し、市民生活を支援するための財源確保に協力するため、政務活動費3か月分(25%)を削減したことから年総額は54万円(＠60,000円/9か月)となりました。政務活動費は議員の調査、研究に必要な経費として、調査研究や研修、広報、広聴、住民相談及び各種会議への参加等市政の課題や住民の意思を把握し、市政に反映させる活動に要する経費に交付されます。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大から研修会への参加が困難となり、広報紙「三田村でるしたより」の発行経費が主な支出です。

活動に使った政務活動費の活動報告書と領収書を添付した収支報告書は、議会事務局に保管されています。市のホームページ(市HP)・越前市議会(政務活動費)令和2年度)で確認できます。

市文化協議会 事務所が市文化 センターに移転

市の文化振興や文化レベルの向上のために、市文化協議会と市文化振興施設管理事業団(市文化センター内)との連携強化が求められてきました。6月定例会議で「市文化センター設置及び管理条例の一部」が改正され、市文化協議会の事務所を武生西公民館別館から市文化センター管理棟1階に移転できることになり、8月に移転しました。

財政健全化判断 比率を公表

令和2年度の決算に係る財政健全化判断比率等が公表されました。国が地方自治体の財政破綻を未然に防ぐために実質赤字比率などの4つの指標を示し、そのいずれか一つでも早期健全化基準(黄信号)以上になった場合は財政健全化計画を、財政再生基準(赤信号)以上になった場合は財政再生計画を財政状況が悪化した原因の分析結果を踏まえて策定し、国、県に報告しなければなりません。

越前市の場合、いずれの会計も実質収支が黒字のため実質赤字比率及び連結実質赤字比率は発生していません。実質公債費比率は過去3カ年の平均で示され、前年度比0.5%改善し、1.1%となりました。公債費は借入れた地方債の元利償還費と一時借入金の利息の合計です。

また、将来負担比率は市の財政規模に対する借入金(地方債)など負債の割合を示すもので132.3%となり、前年度の126.2%より6.1%悪化し、6年連続の悪化となりました。前年度県内9市比較では、最も高くなっています。その要因は、新庁舎建設の地方債の増と、南越清掃組合の負担金の増などが挙げられます。

実質公債費比率及び将来負担比率とも早期健全化基準(25%以上及び350%以上)には達していないものの、県下9市の平均(R1:8.6%及び66.3%)を大きく上回っています。議会の役割として、財政健全化判断比

率の推移をしっかりと見極め、その原因を分析する等、チェック機能を果たさなければなりません。

【収入】

項目	金額	備考
政務活動費	540,000円	@0円/月 R2.4月~R2.6月 @60,000円/月 R2.7月~R3.3月

【支出】

項目	金額	備考
広報費	506,983円	広報紙(たより65~68号)印刷、郵便代
資料作成費	13,217円	タブレット端末通信費実費分ほか
資料購入費	19,800円	福祉新聞年間購読費
合計	540,000円	

【財政健全化基準と財政再生基準】

四つの指標	越前市の比率	早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)	()は前年度
実質赤字比率	— (黒字のため)	12.52%以上	20%以上	一般会計などに占める赤字の割合
連結実質赤字比率	— (黒字のため)	17.52%以上	30%以上	一般会計に国保や水道会計等を加えた赤字の割合
実質公債費比率	11.1% (11.6%)	25%以上	35%以上	収入に対する借金返済率
将来負担比率	132.3% (126.2%)	350%以上	—	公社等を含めた地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債比率

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和4年1月11日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 三田村 輝士



下記のとおり報告します。

日 程 令和4年1月11日（火曜日）～ 月 日（ 曜日）

活動先

活動目的 議会の活動内容を市民に報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

三田村てるしだより第72号

印刷業者 伊部印刷

支払金額 62,700円

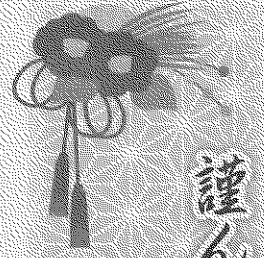
配布先 市内各所

配布枚数 4,000部

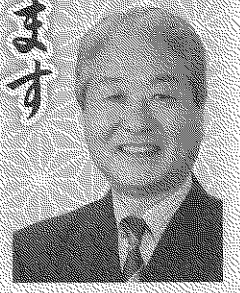
たより内容 別紙のとおり

三田村でるしだより

No.72 2022.1発行 〒915-0031 越前市余川町 31-11 電話27-1837



謹んで新年のご挨拶を申し上げます



2022年の新春、皆様いかがお迎えでしょうか。

旧年中は皆様方には大きなご支援をいただき厚くお礼申し上げます。お陰様で昨年の7月まで1年10月間にわたり市議会議長を務めることができました。これも皆様方のご支援の賜物と心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年1年間も新型コロナウイルス感染症に翻弄された我慢の1年でした。2020東京オリンピック・パラリンピックの開催と共に第5波の感染拡大が始まり、1日の感染者数が2万人を超える日が続きました。年末には収束に向かったかにみえましたが、新たな変異株「オミクロン株」の感染が確認され、予断を許さない状況が続いています。

国際的には香港やミャンマー、タイ等、各地で国家の強権化や人種間の対立・分断、軍事クーデターなどにより、世界が民主主義から独裁体制に傾き始めているように感じます。

国内政治では10月に衆議院総選挙が行われ、政権交代を目指した立憲民主党が後退する残念な結果に終わりました。コロナ対策の迷走や、相次ぐ「政治とカネ」の問題が表面化したにもかかわらず自民党に過半数を許したことは、野党にも責任があ

ります。引き続き岸田政権では、ワクチンの接種対応や北京五輪への派遣、特別給付金のクーポンの取り扱など、迷走が続いています。

一方、越前市では16年間続いた奈良市政が終焉し、山田新市政が誕生しました。12月議会における代表質問や一般質問では、山田市長が自らの言葉で答える場面が多く、高く評価された議会でした。3月議会では令和4年度の当初予算が審議されますが、市長選で掲げた公約実現に向け、どのような「山田カラー」が打ち出されてくるのか興味深い議会となることでしょう。

市議会としても二元代表制の一翼を担う立場として、新市長の提案をしっかりと審議し、市民生活の課題解決に向け、市民に信頼される議会運営にあたってまいります。

今年の7月には市議会議員選挙が行われます。将来の越前市を担う新しい議員構成になることを期待しています。

私も、心新に「人に優しく安心して暮らし続けられる持続可能な平和な社会」を目指して、皆様とともに歩み続けます。結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

12月議会

12月定例会議会は11月26日から12月17日までの22日間にわたって開催され、6会派の代表質問が行われました。また、提案された議案に対する質疑や一般質問をはじめ各常任委員会審議が行われ、令和3年度一般会計補正予算や「武生中央公園屋内催事場の指定管理者の指定」など9件の議案を可決しました。

議会最終日には、感染症の影響を踏まえた支援として子育て世帯に対する給付金の支給のための補正予算が追加提案され可決しました。一般会計では33億1,007万円の補正を行い、補正後の額は39億4,106万円になり、特別会計、企業会計を含めた総予算額は65億5,404万円になりました。

【主な補正予算の内訳】

- 子育て世帯への給付金（別記）..... 13億700万円
- えちぜんし割クーポン券の追加発行..... 2,000万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種3回目のワクチン接種を開始
12月から医療従事者、1月から高齢者
集団接種会場：越前市役所、いまたて芸術館
- 感染症の影響を受けている福武線を沿線3市が支援..... 861万円
- 西校区公立認定こども園整備（令和5年4月開園）..... 4億5,500万円
総事業費：11億5,400万円（R3・R4の2が年事業）
- ふるさと納税推進..... 1億84万円
納税額が5億円から7億円に増加する見込み
- 北陸新幹線越前たけふ駅開業の機運醸成..... 700万円
越前市満喫キャンペーンと新幹線沿線グルメフェアの開催（3月26日・27日）
- 越前たけふ駅二次交通需要調査..... 860万円
- 財政調整基金（積立）..... 7億3,594万円
R3年度末基金残高見込み：24億6,680万円
- 新年度以降の市政運営に関する調査・研究..... 50万円

【補正概要】

会計別	(単位：百万円)		
	補正前	補正額	補正後の額
一般会計	36,141	3,310	39,451
特別会計	17,247	222	17,469
企業会計	8,507	117	8,624
計	61,895	3,649	65,544

お断わり

新年のごあいさつは、年賀状の発送をひかえ、「三田村でるしだより」をもってごあいさつとさせていただきます。よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

一般質問

12月議会での一般質問では「山田新市長の政治姿勢」と「除雪体制」について理事者の考え方を質しました。

山田新市長の政治姿勢については、当選後の初議会であることから、市長のマニフェストや初登壇された際の幹部職員への訓示、12月議会の提案説明、加えて市民と議会の語る会で市民から頂いた意見を踏まえて、今後のまちづくりの考え方や、職員の仕事の環境について提案を行い、理事者の考え方を質しました。

除雪体制については、9月議会の一般質問で検討する。とした課題について、その対応を質しました。

山田新市長の政治姿勢について

① 市民の暮らし

山田市長のマニフェストに「市民と対話し、地域、集落の抱える様々な課題に真摯に答えます。」とあるが、どのように市民と向き合い、対話して、地域における様々な課題の解決に向けて取り組むのか。

▽地域ミーティングや、各種団体との意見交換はこれまで通り行う。内容はフランクに話を聞く時間をしっかりと設けるとともに、ザックリとした現場での話も取り入れる。

② 職員の働く環境について

市役所内の雰囲気や「オープンで自由闊達な議論が交わされ、明るい市役所になりたい」と提案した市長の思いは。

▽職員と活発に議論を交わしたい。新しいことに果敢に挑戦する気持ちを引き出せば、それが前向きで風通しの良い職場になり明るくなる。

仕事の進め方は、原点に立ち戻って本当に必要なのか等、見直しながら少しでも負担を少なくし、前向きに仕事をしてほしい。仕事の進め方を変え、総力を結集することが、結果として市の発展と市民の幸せにつながる。

▽職員も生活者であり、家庭や地

▼市民や企業、地域と共に目標に向かって温室効果ガスを削減する取り組みについて、市長の考えは。

▽市民も同じ目標に向かって、市民、事業者、行政が一体となって取り組むことが重要であるため、脱炭素に対する市民、事業者の意識啓発を行い、実行について協力を呼び掛ける。

▼越前市の魅力を全国、世界に情報発信する具体的な取り組みについて、市長の考えは。

▽越前市には優れた宝、資産があり、全国メディアを通じて外から発信する。SNSなどの新しい情報媒体等あらゆる方法を使う。ブランド戦略の中で、チームに考えてもらっている。なるべく早く実行に移す。

域、文化やスポーツ活動で重要な役割を担っている。市民としての役割を果たすことが、結果として市政の発展につながる。そういう職員の活動を応援したい。」と話された市長の思いは。

▽仕事のやり方を効率的にし、働き方改革を取り入れながら職員が活動を存分にやれるようすることが結果として市の発展と市民の幸せにつながる。

▼市民と議会の語る会で「市の職員は忙しすぎる、残業が多いように思う。職員を増やしてはどうか。」との意見があった。増え続ける業務量や多様化する住民ニーズに対応し、質の高い公的サービスを提供するために、現場の実態に合った職員数に増員していく必要がある。

▼新型コロナウイルス感染症や、全国的な自然災害の多発など、従前にも増して対応、対策すべきことが増えてきている。

令和5年度以降、段階的に65歳まで定年が延長される予定で、60歳に達する職員の労働に対する考え方や、職場の状況を適切に把握し、職場に必要な職員配置を検討するとともに、採用や人事異動に反映する。

▼職員採用では、建築や土木、保育士や保健師、調理員など、専門職員を配置すること。

▽専門職が必要な部署には丁寧な聞き取りをし、人員確保に努めたい。来年1月に実施する採用試験では、土木の専門職と調理員を採用する。

▼事務の効率化のため、12月からAI及びRPAを利用した業務の自

動化を試行する、とは具体的にどのような業務か。

▽AIツールで紙に書かれた情報を電子データ化し、RPAツールで業務システムに自動で入力するもので、自立支援医療業務のシステム入力作業を試行し、AIツールやRPAツールの効果測定や利用のしやすさ等を確かめたい。

▼越前市では、今後どのような業務の自動化を検討するのか。

▽処理量が多い手作業の定型業務について、効果を見極めながら職員の業務改善のツールとして、AIやRPAの導入を進めたい。試行で職員がAIやRPAの効果を実感することにより、デジタル技術活用を意識醸成や事務改善の新たな気づきを期待している。

▼昨年4月の職員の平均年齢は36.4歳。市職員の平均年齢が若いということは活気があるということだが、市民サービスの維持向上や、技術やノウハウの蓄積と継承、さらに災害時の対応などに不安を感じる。デジタル化の研修を含め、職員研修を充実させること。

▽組織が若返り新しい風が吹き、職場の活性化や新たな発想などが期待される一方で、先輩職員が日常業務を若手職員に教え、技術やノウハウを引き継ぐOJTが減っている。

今後、加速度的に進む行政のデジタル化の波に乗り遅れることなく、適切に対応していくために、各年代や階層ごとの研修や、自己選択型研修などのほか、デジタル関連の研修も充実する。

▼越前市は小学校、保育園の給食を自園自校、直営方式により提供してきたことで、全国に誇れる給食として評価されている。引き続き自園自校、直営方式を堅持し、正職の調理員を採用すること。

▽自校・直営方式により、栄養ある温かい給食が提供され、日常的に子供たちの食育につながっていることから現在の方式を継続したい。来年1月の職員採用試験で調理員の採用を行い、必要な職員数の確保に努める。

▼山田市長にも一度、温かい学校給食を食べていただきたい。

▽機会があれば、ぜひと思っている。

▼市役所の窓口において、行き詰まってしまうような復讐的な問題を抱えている市民に対して、問題の本質を聞き取り、専門担当者につなぐ仕組みをつくること。

▽基本的な窓口対応から高度な技術まで「市民福祉部接対対応マニユアル」を整備し、普及を図っているが、今後も「ほかに何かお困りごとはありませんか」と言える窓口を目指す。

▼窓口サービス課で、転入・転出者に対して、越前市での暮らしをどのように感じているのか等のアンケート調査を行い、行政サービスの向上につなげてはどうか。

▽転入・転出者に対するアンケート調査の実施について、今後、具体的に検討する。

除雪体制について

▼市道除雪業者にお願いでできると思われる路線や、機械除雪が可能な幅員がある狭路道路について、市道除雪に組み込むための検討結果は。

▽今年3月に区長に実施した調査に基づき、3,049mを市道除雪路線に加える。

▼市道除雪機械の運転免許取得費にかかる補助制度の検討結果は。

▽除雪オペレーターの確保が重要な課題であることから、令和4年度の導入に向けて検討を続ける。

▼令和3年1月の大雪の反省点を、改善に向けてどのように検討したか。

▽1月の除雪出動が遅れた反省を踏まえ、巡回パトロールを強化し、気象情報や降雪予測を注視すると共に、県の出動状況なども確認して適切なタイミングで除雪を行う。

子育て世帯への特別給付金の支給

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた支援策として、子育て世帯に臨時特別給付金が支給されます。12月議会最終日に13億700万円の補正予算が追加提案され可決したこと、対象児童一人当たり10万円を、クリスマス時期(12月23日)と新学期、新入学準備時期(1月以降)の2回に分けて、5万円ずつ給付されます。対象児童は、0歳から高校3年生

相当年齢までの約13,000人で、内訳は次のとおりです。

- ① 令和3年9月分の児童手当が支給対象の児童(約10,600人)
- ② 令和3年9月30日時点で高校生相当年齢の児童(平成15年4月2日～平成18年4月1日生まれ、約2,000人)
- ③ 令和4年3月30日までに生まれた児童手当が支給対象の児童(新生児：約400人)

新幹線越前だけ心駅周辺まちづくりの今後の進め方

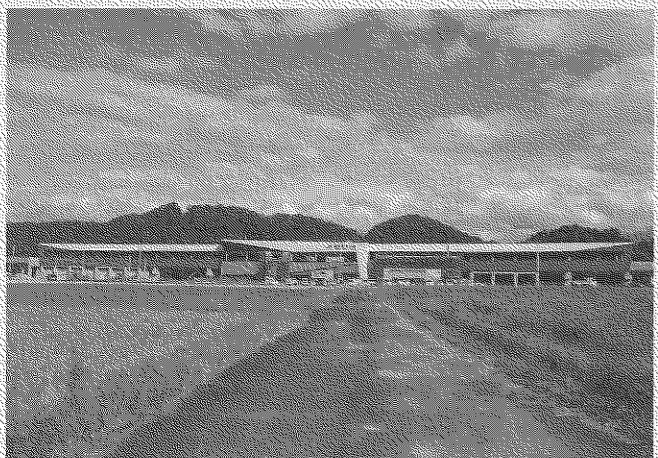
山田新市長が誕生し、新幹線越前だけ心駅周辺のまちづくりが大きく変わろうとしています。

昨年8月にパートナー企業が戸田建設に決まり基本協定が締結されました。10月には駅周辺の5町内において事業概要や今後の進め方の説明会が開催されました。11月から地権者(170名)宅の全戸訪問を行い、事業内容の説明を行うとともに土地利用の意向調査が実施されています。

今後は、意向調査に沿って進出企業候補との具体的な協議に入り、令和4年度中に地権者や進出企業候補の意見を反映した土地利用計画が策定されることとなります。

そして、今後2年半から5年の間に、商業施設、学術研究機関、研究開発拠点を誘致整備していきたいと考えていると示されており、地元

まちづくり協議会、関係団体などと協議を行いながら、確実に着実に実現を目指しています。



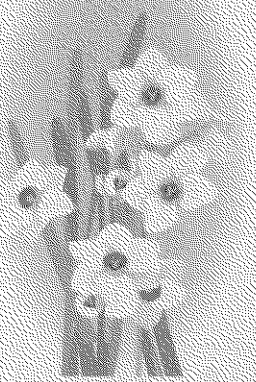
3月定例議会の日程が決まりました

3月定例議会は2月18日から3月18日までの29日間の予定で開催されます。

山田市長が掲げた公約の実現に向けて「山田カントリー」が打ち出される初めての当初予算を審議することになります。その他、コロナ対策や新幹線越前だけふ駅周辺まちづくり等に議論を深めなければならぬ重要な定例会となります。

市民の皆さんの議会傍聴をお待ちしています。

3月議会日程	
2月18日	提案理由説明
2月24・25日	質疑
2月28日～3月3日	一般質問
3月4～11日	常任委員会
3月14・15日	特別委員会
3月18日	議会最終日



自治創想 (辻さんを想う)

昨年の最も残念な出来事は、辻二憲県会議員が突然の事故に遭遇し、逝去されたことです。未だに事故の真相は分かりませんが、なぜ、どうしたの、という問いにも答えが出ていません。悔しくて残念でなりません。

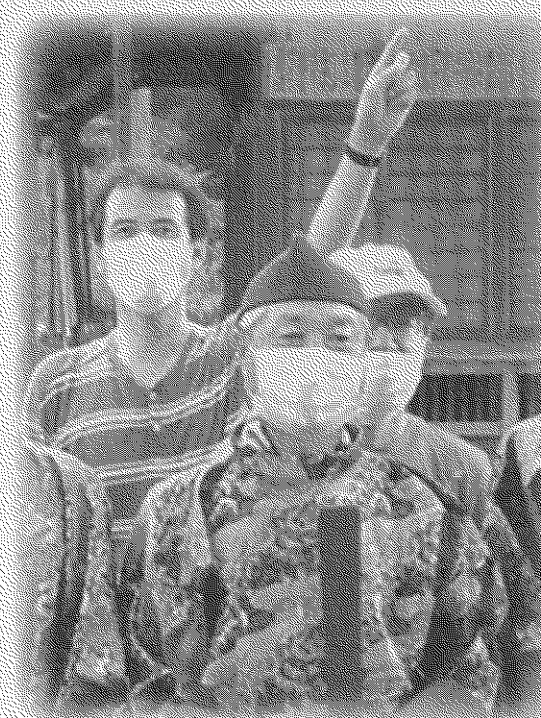
私と辻さんとの最初の出会いは、平成4年ケニヤで開催された「ケニヤ音楽祭」文化を守れ！日本ケニヤ太鼓の競演「ナイロビ公演」に、味貞野地区に拠点を置く、和太鼓グループ「いずみ曲友会」の一員として参加したことが、ご縁の始まりです。公演団体の代表を務め通訳・事務局を担当した辻さんと10日間の行動を共にしました。

その後、辻さんに越前市今立郡南条郡選挙区から県会議員への立候補をお

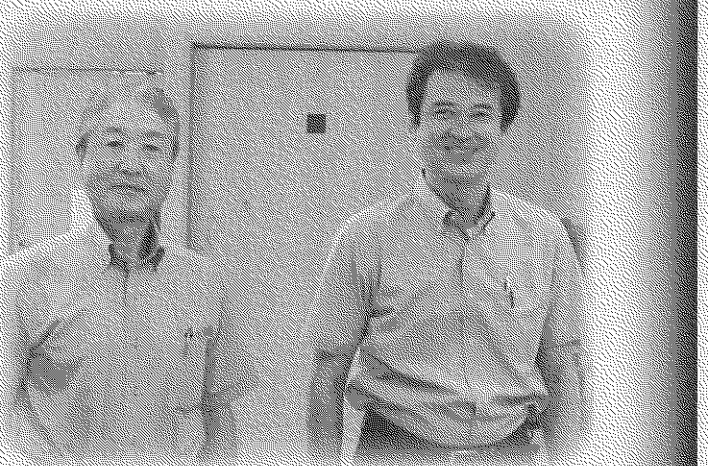
願いし、平成27年に初当選、平成31年に2期目の当選を果たしました。親戚も同級生もない地域で、本当によく地域を回り、仲間をつくって精力的に活動していました。何事にも冷静に対応し、情熱あふれる行動力は他に類を見ないほどでした。

区長からの相談で、県や市に関わる事があるときは、私や県、市の担当者を集め、問題解決にむけて協議を行うことが何度もありました。障がい児をもつ親からの相談にも、何とか解決できないものかと県内全ての施設を回って調査活動を行うなど、親身になつて相談にに応じていました。

辻さんと一緒に調査活動を行い、様々な地域活動に参加してきました。辻さんは多くの方に親しまれていました。



令和3年9月19日(日)辻さんは午後3時過ぎから五分市町付近で「県政ニュース(25号)」を配つて歩いていたら、何らかの事故に巻き込まれたようです。夜の9時半頃、太鼓の練習を終えて帰宅した仲間が、自宅横の車庫に寄り



かかって座り込んでいる辻さんを発見しました。まさに偶然で奇跡的な発見でした。

連絡を受け駆けつけて救急車に乗って病院に向かい治療を受けましたが、その甲斐なく26日に帰らぬ人となつてしまいました。

辻さんとは事故の3日前に将来の国政への転身について後援会役員数名で協議をし「衆議院選挙後に再協議して方向性を決めましょう」と相談していた矢先の出来事でした。

辻さんの抜けた穴が大きすぎて、丹南地域における民主の灯を消さないための対策を見出すにはもう少し時間がかかりそうです。辻さん、安らかにお休みください。